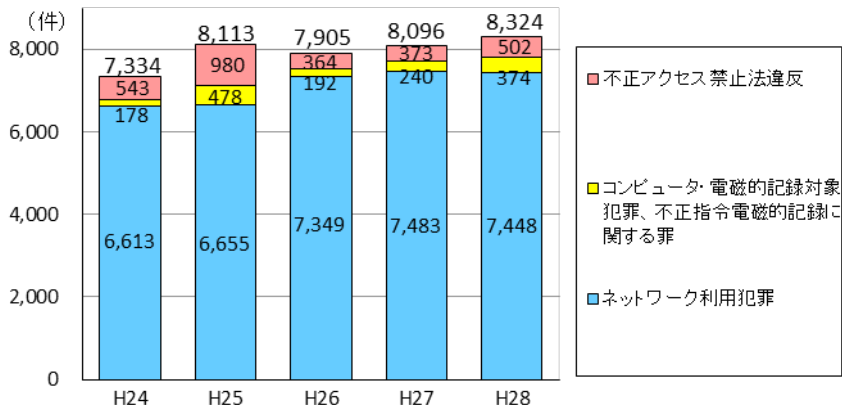


サイバー空間の脅威

サイバー犯罪の情勢

サイバー犯罪の検挙件数の推移



インターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害額

→ 約16億8,700万円 (平成28年中)

サイバー攻撃の情勢

サイバー空間の脅威は深刻化

【海外】

- ウクライナの一部地域において大規模な停電が発生
- 米国大統領選挙に関連するサイバー攻撃により、情報窃取等の被害が発生

【国内】

- 我が国の先端技術を有する事業者等に対する標的型メール攻撃が継続的に増加

世界的規模でサイバー攻撃が頻発

今後の取組

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模な国際行事の成功のためにも、サイバー空間を含めた治安の維持に万全を期す必要がある。

「警察におけるサイバーセキュリティ戦略」に基づき、警察組織の総合力を発揮した効果的な対策を推進していく。

対処能力の強化

- 一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター（JC3）との連携
- 重要インフラ事業者等との情報共有・共同対処訓練の推進
- ICPOシンガポール総局(IGCI)等国际機関との情報交換 等

組織基盤の強化

- サイバーセキュリティ対策研究・研修センターにおける教育・訓練の拡充等専門的捜査員の育成
- 情報技術の解析に係る高度専門人材の育成 等

脅威の低減

- 違法行為の徹底した事態解明及び取締り
- 関係機関と連携した社会全体の防御力・回復力の向上 等